

人事労務の役割と期待

— ホワイトカラーを中心として —

周知のように企業社会や雇用構造は大きく変貌しつつある。また真に豊かさやゆとりが実感できる労働生活の質的向上が強く求められてもいる。

そこで本調査研究では、転換期における人事労務の今後の方向性や在り方をさぐるため、人事労務の新たな施策をめぐる労使双方の考え方を比較すると共に、ホワイトカラーを中心とした人事部門に対する意見や要望、人事考課への認知、そして雇用・賃金・従業員福祉等の意識を明らかにした。

◆研究委員会メンバー

- 〈主 査〉安 藤 喜久雄 駒澤大学 教授
〈委 員〉山 田 焯 日本大学 教授
尾 澤 英 夫 労働省職業安定局雇用政策課 中央雇用計画官
工 藤 正 障害者職業総合センター 主任研究員
細 工 良 識 フリーライター
千 野 弘 道 東京都商工指導所 主任指導員
森 清 山野美容芸術短期大学 専任講師
〈事務局〉秀 島 敬 一 (財)雇用開発センター 常務理事
戸 村 惇 夫 (財)雇用開発センター 研究調査部長
斉 藤 幹 雄 (財)雇用開発センター 研究調査課長
前 田 直 子 (財)雇用開発センター 研究調査部

◆目 次

I 序 論

第1章 調査研究手法の概略及び基本的属性

第2章 調査研究結果の要約

II アンケート調査の分析

第1章 企業生活におけるホワイトカラー従業員の意識

第2章 ホワイトカラー従業員からの発言と現場部門への権限シフト

第3章 人事施策の新展開

III 事例研究

付属統計資料